



第 2 回

桜山インターベンショナル疼痛治療カダバーハンズオンワークショップ

主催：厚生労働省「慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業：東海・北陸ブロック」

日時：2021年3月13日（土） 9:00-18:00

会場：名古屋市立大学医学部 基礎教育等 5 階 第 3 講義室
基礎教育棟 6 階 先端医療技術イノベーションセンター

定員：15名（事前登録制）

対象：若手医師（インターベンショナル治療や慢性疼痛治療に興味のある若手医師）

内容：超音波ガイド下末梢神経ブロックと透視下ブロックに関する講義および実習

受講料：無料

申し込み先：<https://form.run/@nobukusama-1609742656>

※申し込みにあたっては、名古屋市立大 CST（カダバーサージカルトレーニング）同意書への同意が必要になります。

また新型コロナウイルス感染対策へのご協力もお願いいたします。

実施責任者：名古屋市立大学大学院医学研究科麻酔科学・集中治療医学分野（疼痛医学分野）教授
いたみセンター長 杉浦健之

問い合わせ先：名古屋市立大学大学院医学研究科 麻酔科学・集中治療医学分野担当
草間宣好 nkusama@med.nagoya-cu.ac.jp



ワークショップの概要

本ワークショップは、末梢神経ブロックや透視下神経根ブロックの初級者レベルまたは未経験の先生方を対象としており、明日からの臨床に役立つ知識や技術を学んでいただきます。ワークショップは、講義と実技の2部構成で行います。最初に末梢神経ブロックおよび透視下神経根ブロックの基本的内容に関して講義を行います。その後、サージカルトレーニングルームに移動し、ご献体（カダバー）を使用した実習を行います。透視下ブロックでは、腰部神経根ブロックと腰椎椎間関節造影（ブロック）の実演を行います。超音波ガイド下末梢神経ブロックの実習では、3グループ（1グループあたり受講者5名、カダバー1体）に別れて、ブロック針による穿刺と色素液注入を行います。穿刺後に解剖を行い、神経ブロックに必要な局所解剖の理解を深めていただきます。

新型コロナウイルス感染対策のお願い

- ・ 受講当日は、ご来場いただく前に体温測定をお願いいたします。体調にご留意いただき、もし不調（発熱・風邪症状・味覚や嗅覚の異常等）があれば参加はご遠慮下さい。
- ・ 受付場所に、体表面温度測定器を準備いたします。ご入場の際には、すべての参加者に体温の計測にご協力をお願いいたします。37.5℃以上の場合には参加をご遠慮いただく場合がありますのでご了承下さい。
- ・ セミナー中は常時マスクの着用をお願いいたします。
- ・ 消毒用アルコールを設置します。手指消毒へのご協力をお願いいたします。
- ・ 講義中や昼食時は、お互い他の参加者と距離を取ってご着席下さい(昼食の用意を致します)。

タイムスケジュール

- 8:45～ 9:00 参加受付（名古屋市立大学医学部基礎教育棟 5階 第3講義室）
- 9:00～10:00 座学（講義）
- 10:00～10:10 基礎教育棟 6階 サージカルトレーニングルームへ移動
- 10:10～11:30 カダバーを用いた透視下ブロック
- 11:30～12:30 カダバーを用いた超音波ガイド下神経ブロックの穿刺・解剖
- 12:30～13:15 休憩（休憩時間は進行状況により調整）
- 13:15～17:30 追加の穿刺・解剖、適宜休憩
- 17:30～18:00 後片付け、閉会

講義（60分）

1. 柳原 尚（痛みの診断・治療 名古屋栄ペインクリニック）
「透視下ブロックの1stSTEP」
2. 草間宣好（名古屋市立大学大学院医学研究科麻酔科学・集中治療医学分野）
「Plan A blocks. 解剖での確認ポイント」

実習

①透視下での腰部神経根ブロック、腰椎椎間関節造影（ブロック）

ペインクリニックにおいて、今や安全で再現性のある正確な診断治療のため、多くの手技で可視化が図られています。超音波とともに X 線透視を用いた神経ブロックや診断を習得することにより、診療のレベルアップにつながります。今回、透視下神経ブロックのなかでも、ベーシックでなおかつ臨床上よく使う手技として、腰下肢痛における腰部神経根ブロックと腰椎椎間関節造影（ブロック）について、それらの適応、解剖、方法を学ぶとともに、カダバーハンズオンによる手技の習得を通じ、まずは透視下診断治療に慣れ親しむことを目標とします。

②超音波ガイド下末梢神経ブロックの穿刺および色素液の注入

3グループ（1グループあたり受講者5名、インストラクター1～2名）に別れて実習を行います。

各ブースにThiel法固定カダバー1体を配置します。

基本的な超音波ガイド下末梢神経ブロックの穿刺と色素液注入を行います。

予定する神経ブロック：腕神経叢ブロック（斜角筋間アプローチ）、大腿神経ブロック、坐骨神経ブロック（膝下部）、腹横筋膜ブロック、腹直筋鞘ブロック、胸筋神経ブロック（PECSブロック）など

③解剖

局所解剖の確認を行うとともに、注入した色素液の拡がり等を観察します。

※時間の関係上すべての手技が行えない場合がありますのでご了承下さい。

インストラクター

柳原 尚	痛みの診断・治療 名古屋栄ペインクリニック
杉浦健之	名古屋市立大学大学院医学研究科 麻酔科学・集中治療医学分野
祖父江和哉	名古屋市立大学大学院医学研究科 麻酔科学・集中治療医学分野
草間宣好	名古屋市立大学大学院医学研究科 麻酔科学・集中治療医学分野
徐 民恵★	名古屋市立大学大学院医学研究科 麻酔科学・集中治療医学分野
太田晴子	名古屋市立大学大学院医学研究科 麻酔科学・集中治療医学分野
仙頭佳起★	名古屋市立大学大学院医学研究科 麻酔科学・集中治療医学分野

★は日本臨床麻酔学会認定教育インストラクター（神経ブロック）

アクセス

無料駐車券等は発行できませんので、公共交通機関でお越しください。

交通アクセス <https://www.nagoya-cu.ac.jp/med/guide/access.html>

キャンパスマップ https://www.nagoya-cu.ac.jp/med/guide/campus_map.html

